



號 四 第

卷 八 十 二 第

目 次

安南清化省東山出土の桶形銅器……………文學博士梅原末治

墮和羅國考……………文學士山本達郎

法王設定境界線問題に關する考察(上)……………文學士前川貞次郎

——近世ヨーロッパ膨脹史上の一問題——

白 濠 主 義……………文學士河地貫一

——成立とその歴史的展開——

舊事紀の成立に就いて……………文學士河野國雄

紹介・彙報・會報 (細目裏面)

會 究 研 學 史

內 部 學 文 學 大 國 帝 都 京

紹介

寺尾 宏二著 明治初期京都經濟史(奈良本)

清水 三男著 上代の土地關係(林屋)

大類 伸著 ルネサンス文化の潮流(鹽見)

ハーセブレック著 都市國家と經濟(兼岩)

岩田 孝三著 國防地政學(村上)

梅原末治編著 漢三國六朝紀年鏡圖說(岡田)

末永 雅雄 小林 行雄共著 大和唐古彌生式遺跡の研究(角田)

藤岡謙二郎 長廣 敏雄著 古代支那工藝史に於ける帶鉤の研究(澄田)

彙報

昭和十八年十月史學科講義題目 昭和十八年九月卒業者史學科

卒業論文題目 史學研究會 讀史會 西洋史讀書會 地

理學談話會

會報

會員動靜 寄贈交換圖書

前號目次

ギリシアに於ける政治思想史の開幕……………原 隨園

大名領地法の性格……………藤 直幹

北京の國都的性格……………田 村實造

——歷史上よりみたる——

グスタフ・コッシナ教授と

現代獨逸考古學界……………角 田文衛

日本沿岸に於ける社會の地緣……………中 田榮一

——主として海村を中心としてみたる——

紹介・彙報・會報

# 急 告

来る十月三十日(土)、三十一日(日)兩日、左記次第を以て本年度大會を開催致します。奮つて御參會下さい。

見 學 十月三十日(土曜日)

大徳寺本坊及び高桐院什物見學 (市電北大路大宮  
大徳寺前下車)

午前十時より午後三時までの間に隨時御見學のこと

公 開 講 演 會 十月三十一日(日曜日)

午後一時半より 京大樂友會館に於て (市電近衛通  
下車東入)

法 隆 寺 問 題 の 管 見

本會評議員、京都  
帝大教授文學博士

梅 原 末 治 氏

百年戰爭勃發の事情について

東京帝國  
大學教授

山 中 謙 二 氏

